

## 【学校教育目標】

国際的な視野にたって、みんなが幸せに暮らせる文化を創り出す  
豊かな心と確かな学力、行動力を持った子どもの育成

## 【めざす子ども像】

- ◎ 聴き合い、伝え合い、自ら学びを深めていく子 ◎ 自分も「なかま」も大切にできる子
- ◎ 目標を持ち、自主的・自動的に行動できる子 ◎ 国際的な視野に立って、つながり合える子

課題	具体的な取組	数値目標
わかる授業の創造、基礎学力の定着と向上、家庭との協働  <b>学力</b>	<p>○子どもの視点に立った「わかる授業」の研究を通して「子どもに即した授業改善」「教師の授業力の向上」を進め、すべての子どもたちの学力を保障する授業づくりを進めます。また、わかりやすい授業づくりのために、授業のユニバーサルデザイン化、ICTの活用に取り組みます。</p> <p>○授業規律を確立し、安心して学び合える学級をつくります。また、家庭学習の内容を工夫し、保護者と協働して家庭での学習習慣を定着させます。</p> <p>○学校図書館「ひがしの図書館」の機能（読書センター、学習センター、情報センター）を活用し、子どもの読書および探究活動の充実を図ります。</p>	<p>○児童アンケート「授業がわかる」について、肯定的な回答<u>95%以上</u>をめざします。（R6-95%）</p> <p>○児童アンケート「家庭学習に時間を決めてしっかりと取り組む」について、肯定的な回答<u>80%以上</u>をめざします。（R6-75%）</p> <p>○児童アンケート「読書が好き」について、肯定的な回答<u>85%以上</u>をめざします。（R6-86%）</p> <p>○保護者アンケート「上野東小は、子どもに学力が身につくよう努力している」について、肯定的な回答<u>95%以上</u>をめざします。（R6-96%）</p>
人権意識の高揚と豊かな人間性の育成  <b>人権</b>	<p>○各学年で系統的人権・部落問題学習に取り組み、差別に気づき、差別を許さない、差別をなくしていくこうと行動できる子どもを育てます。また、自分も友だちも大切にするとともに、人権が大切にされる学校文化を構築します。</p> <p>○多様な子どもたち（外国につながりのある子・特別な支援を要する子・教育的に不利な環境のもとにある子）が、対話や協働を通じて共に学ぶなかで、居心地のよい学校・学級づくりを支援します。</p>	<p>○児童アンケート「自分には良いところがある」について、肯定的な回答<u>85%以上</u>をめざします。（R6-85%）</p> <p>○児童アンケート「先生は、あなたの良いところを認めてくれている」について、肯定的な回答<u>90%以上</u>をめざします。（R6-88%）</p> <p>○保護者アンケート「上野東小は、人権を大切にした教育活動を進めている」について、肯定的な回答<u>95%以上</u>をめざします。（R6-91%）</p>
学ぶこと、働くこと、生きることとの尊さを実感させるキャリア教育の推進  <b>キャリア</b>	<p>○子どもたちが、「将来の自分像」をもてるよう、中学・高校等と連携し、人との出会い学習や体験活動から生き方を学ぶ学習を進めます。</p> <p>○一人一人の主体的な意志決定を大切にする活動や生産的・文化的・協働的な活動、家庭・学校の中での役割を果たす活動を通して、自分らしい生き方が実現していくための働きかけを行います。また、「見えない学力」（自分の思いを持つ、自分を表現する、人を大切にする、粘り強く挑戦する等）を身に付け、「強い心」を持った子どもが育つよう取り組みます。</p>	<p>○児童アンケート「将来の夢や目標を持っている」について、肯定的な回答<u>90%以上</u>をめざします。（R6-89%）</p> <p>○児童アンケート「学級のみんなで取り組んだことで、嬉しかったことがある」について、肯定的な回答<u>90%以上</u>をめざします。（R6-91%）</p> <p>○保護者アンケート「あなたの子さんは、進んでいき事ができる」について、肯定的な回答<u>80%以上</u>をめざします。（R6-79%）</p>
安心して働く職場環境の改善  <b>働き方</b>	○「伊賀市学校職員の総勤務時間縮減のための業務改善ポリシー」（定時退校の実行・休暇取得日数の増加・会議時間の短縮・月45時間・年360時間以内等の方針）を遵守し、教職員が心身ともにゆとりをもって子どもと向き合えるよう、安心して働きやすい環境を整えます。	<p>○総勤務時間を縮減し、残業時間月平均<u>20時間以内</u>をめざします。（R6-12時間46分）</p> <p>○学校安全衛生委員会の<u>学期1回以上</u>の開催により、課題解決に向けた具体的な協議を行います。また、途中で課題が発生した場合は、その都度協議の場を持ち、課題の解決をめざします。（R6-学期各1回）</p>

「学校に行くのは楽しい」と肯定的に回答する子ども90%以上をめざします。（R6-84%）